

## ■NST (Nutrition Support Team) ・ 栄養管理委員会

### 1. 2017 年度の目標および方針

従来通り、患者さま個々の状態に応じた適切な栄養管理を多職種によるアプローチにより行うことで、合併症や ADL の低下を最低限とし、最良の治療成績を得ることを目的とした活動を継続する。2017 年度はさらに安全と質の向上を進めるため以下の計画も進める。

- ・ AoLani の導入にあわせ、必要な患者さまに漏れなく栄養サポートを提供できるシステムの構築を目指す。

- ・ 栄養管理に関連する安全管理の教育を全職員に実施する。

### 2. 年間活動内容と実績

#### 1) 委員会

NST・栄養管理委員会は、月 1 回開催された。多職種の積極的な参加により栄養管理における質の改善を継続している。

#### 2) 入院時栄養状態のスクリーニング

NST 依頼の有無に関わらず、入院全患者に対して入院時の栄養状態のスクリーニングを行なっている。スクリーニングとして全入院症例に対して MNA および CONUT 評価を実施している。結果は電子カルテに記載をおこなっている。

#### 3) 臨床栄養サポート

NST に依頼があった患者様について、管理栄養士による初期栄養評価を行い、それに基づいて今後の栄養療法に関して主治医・担当医に提案を行った。その後も定期的に栄養状態のフォローアップを行い、各職種が集まり討議を行った上で、栄養療法の調整を行った。2016 年度の依頼件数は 1570 件であり、前年度よりやや低下した。

また、歯科センターの協力の下で、歯科医師・歯科衛生士による病棟口腔ケアも継続して実施している。

年度	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
件数	437	650	712	765	971	1,226	1,509	1,650	1,748	1,609	1,570

表：NST 依頼件数の推移

### 3. NST の活動内容および委員

#### 1) NST とは

栄養サポートチーム (Nutrition Support Team; NST) とは、栄養評価・栄養管理の側面から患者さまの治療のサポートを行なっている組織である。これにより栄養障害から生じる合併症を減らし、より高い治療効果を得ることを目的とするものである。

当院の NST は、2002 年に発足し、2005 年 3 月より” NST・栄養管理委員会”として委員会組織に改編を行い、活動を継続している。

#### 2) 委員

宮越浩一 (委員長)、鈴木洋子 (副委員長)、松本雄三 (副委員長)、その他に医師、歯科医師、管理栄養

養士、看護師、薬剤師、言語聴覚士・理学療法士・作業療法士・臨床検査技師・歯科衛生士・MSW など合計 37 名より構成されている。

#### 4. 教育・勉強会関係など

##### 1) 臨床栄養学講座

院内各職種の情報交換を目的として、月 1 回、臨床栄養学講座を行っている。テーマは栄養に関連する内容であるが、講師は様々な職種が担当し、幅広い知識を提供することを目指している。

##### 2) NST 専門療法士研修の開催

地域の NST 関連医療職を対象とした 1 週間の研修を行った。これを受講することにより、日本静脈経腸栄養学会の認定する NST 専門療法士取得のために必要な研修を終了したこととなる。今年度は 2 名の受け入れを行った。

#### 5. 学術関係

学会発表

関根広介：生体電気インピーダンス（BIA）法による NST 栄養評価の施行状況

第 32 回日本静脈経腸栄養学会学術集会、2017 年 2 月、岡山市

平田一耕：消化管穿孔術後の患者に対して十全大補湯が有効と考えられた一症例

第 32 回日本静脈経腸栄養学会学術集会、2017 年 2 月、岡山市

上田祐菜：整形外科入院患者における食事摂取量と関連する因子の検討

第 32 回日本静脈経腸栄養学会学術集会、2017 年 2 月、岡山市

宮越浩一：Mini Nutritional Assessment short-form (MNA-sf) の在院日数予測ツールとしての有用性。第 32 回日本静脈経腸栄養学会、2017 年 2 月、岡山市

Koichi Miyakoshi: Impact of Nutritional Status on Length of Hospital Stay. 33rd World Congress of Internal Medicine, Aug 2016, Bali

文責：宮越浩一